伊万里市認知症

あんしんガイドブック

（認知症ケアパス）

認知症は、誰でもなる可能性のある身近な病気です。

この冊子は、認知症の人とその家族の不安を少しでも軽くできるように、認知症になっても安心して伊万里市で暮らし続けられるための大切な情報をまとめたものです。

認知症の人を介護されている人も、今後認知症が心配な人も、まだ認知症についての十分な知識がない人も、ぜひ手に取ってみてください。

編集・発行：　伊万里市地域包括支援センター

作　成　日：　令和７年１月

もくじ

1　認知症を知ろう　・・・

1　認知症を知ろう

「認知症」とは、さまざまな原因で脳の細胞が減ってしまったり、働きが悪くなることによって、さまざまな障がいなどが起こり、社会生活や日常生活に支障が出ている状態（およそ６か月以上継続）をいいます。

（１）加齢による「もの忘れ」と認知症の「記憶障がい」の違い

加齢による「もの忘れ」	認知症の「記憶障がい」
一部を忘れる 例）朝ご飯のメニューを忘れる	すべてを忘れている 例）朝ご飯を食べたこと自体を忘れる
もの忘れの自覚がある	もの忘れの自覚がない
約束をうっかり忘れてしまう	約束したこと自体を忘れてしまう
曜日や日付を間違えることがある	月や季節を間違えることがある

参考「認知症サポーター養成講座標準教材」

（２）認知症のタイプ

認知症は、原因によって症状のあらわれ方などに特徴があります。主な病気は以下のとおりです。

アルツハイマー型認知症

■もの忘れから始まる場合が多い
■作業の段取りが苦手になる
■今までスムーズに出来ていたことにミスが目立つ
■ごまかしや取り繕いがみられる

脳血管性認知症

■脳梗塞や脳出血などが原因で発症
■もの忘れや言語障がいなどが現れやすい
■早期から歩行障がいが出やすい

レビー小体型認知症

■そこにないものが見える（幻視）
■その時々による理解や感情が変化する
■ぎこちない動作になる、体が硬くなる、小刻み歩行（パーキンソン症状）等がみられる
■大声での寝言や行動化が起こる（レム睡眠障がい）

前頭側頭型認知症

■会話中に突然立ち去る、万引きをする同じ行為を繰り返すなどの症状がみられる
■興奮しやすく、性格の変化がみられる

高齢者では認知症の病気が複数重なることもあります。さらに働き盛りの世代でも発症するおそれもあることから、認知症は誰にでも起こりうる病気と言えます。

参考「Orange Café 認知症カフェまにゅある」

（３）認知症の症状

認知症の症状を引き起こす病気が原因で、脳の働きが低下する

↓

中核症状

・記憶障がい（もの忘れ）　・場所、時間、人の顔がわからない
・理解や判断力の低下　・同時に２つのことができない、手順がわからない

生活環境の変化 → ↓ ← 本人の性格、心身の不調

行動・心理症状

・不安　・不眠　・うつ状態
・徘徊　・幻覚、妄想　・興奮したり、暴力的になる

2　認知症を早く見つけよう

もの忘れがひどい

- □ 同じことを何度も言う・聞く・する
- □ 切ったばかりの電話の相手の名前を忘れる
- □ いつも探し物をしている
- □ 財布・通帳・衣類などが盗まれたと人を疑う

理解・判断力が衰える

- □ 料理・片づけ・計算・運転等のミスが多くなった
- □ 新しいことが覚えられない
- □ 話のつじつまが合わない
- □ テレビ番組の内容が理解できなくなった

時間・場所が分からない

- □ 約束の日時や場所を間違える
- □ 慣れた道でも迷うことがある

人格が変わる

- □ ささいなことで怒りっぽくなった
- □ 周りへの気遣いがなくなり、頑固になった
- □ 自分の失敗を人のせいにする
- □ 「このごろ様子がおかしい」と周囲から言われた

不安感が強い

- □ １人になると怖がったり、寂しがったりする
- □ 外出時、持ち物を何度も確かめる
- □ 「頭が変になった」と本人が訴える

意欲がなくなる

- □ 下着を替えず、身だしなみを構わなくなった
- □ 趣味や好きなテレビ番組に興味を示さなくなった
- □ ふさぎこんで何をするのも億劫がり嫌がる

参考「公益社団法人認知症と家族の会 HP」

3　相談をしてみよう

認知症の早期の発見、早期の受診・診断、早期の治療はその後の生活を大きく左右する大切なことです。「このぐらいは誰にでもある」「治らないものだから」と思っているかもしれませんが、早期に受診し診断を受けることで、その人らしい充実した暮らしを続けやすくなります。

（１）早期に発見することのメリット

①認知症のような症状でも治る病気であったり、一時的な場合もある。

正常圧水頭症、慢性硬膜下血腫、不適切な薬の使用などの要因がある場合があります。また、認知症の前段階である軽度認知障がい（MCI）の状態であれば、回復したり、発症がゆっくりになることもあります。

＊MCI とは…もの忘れは目立つものの社会生活や日常生活に支障をきたしていない状態。

②認知症の進行を緩やかにする

治療やサポートを行うことで、症状の進行をゆっくりにしたり、行動・心理症状（怒りっぽさ等）を予防・軽減することが期待できます。

③事前にいろいろな準備ができる

本人や周りの人が、生活での困りごとに対応しやすくなります。本人の想いを尊重しながら、一緒に治療や今後のことを考えていくことができます。

●認知症かもしれない？と思ったら、まずはかかりつけ医に相談しましょう。

①いつ頃から症状がでたのか　②過去の病歴

③お薬ノート　④１日の過ごし方　⑤介護保険申請の有無

以上について、医師に説明できるように準備しておくと診察がスムーズです。

●かかりつけ医がいないときはどうしたらいい？

①地域包括支援センター（☎２３－２１２２）や

お住いの地区の在宅介護支援センター（Ｐ５）

②佐賀県認知症コールセンター（☎０９５２－３７－８５４５）　へご相談ください。

（２）医療機関一覧　～もの忘れ外来・精神科/認知症サポート医～

医療機関名	問い合わせ先	診療科	認知症サポート医がいる医療機関
おぜきホームクリニック （伊万里地区）	伊万里市蓮池町５８ ☎０９５５－２５－８０３０	内科	★
堀田病院 （立花地区）	伊万里市立花町２９７４－５ ☎０９５５－２３－３２２４	精神科 もの忘れ外来	★
山のサナーレ・クリニック （立花地区）	伊万里市立花町３２３－２ ☎０９５５－２２－２１２８	精神科	
小島病院 （黒川地区）	伊万里市黒川町塩屋２０５－１ ☎０９５５－２７－２１２１	もの忘れ外来	★
小島医院 （波多津地区）	伊万里市波多津町辻５４４１ ☎０９５５－２５－００３８	内科	★
山元記念病院 （二里地区）	伊万里市二里町八谷搦８８－４ ☎０９５５－２３－２１６６	もの忘れ外来	★
立石医院 （東山代地区）	伊万里市東山代町里１１１－１ ☎０９５５－２８－０００７	内科	★
西田病院 （山代地区）	伊万里市山代町楠久８９０－２ ☎０９５５－２８－１１１１	もの忘れ外来	
伊万里有田共立病院 （有田町）	西松浦郡有田町二ノ瀬甲８６０ ☎０９５５－４６－２１２１	脳神経内科	★

●佐賀県認知症疾患医療センター

医療機関名	問い合わせ先
堀田病院 （伊万里市）	相談受付　９時００分～１７時００分（土日・祝日を除く） ☎０９５５－２９－８２１０（直通）
河畔病院 （唐津市）	相談受付　９時００分～１７時００分（土日・祝日を除く） ☎０９５５－７７－１６１５（直通）
佐賀大学医学部附属病院 （佐賀市）	相談受付　８時３０分～１７時００分（土日・祝日を除く） ☎０９５２－３４－３８３８（直通）
肥前精神医療センター （吉野ケ里町）	相談受付　８時３０分～１７時００分（土日・祝日を除く） ☎０９５２－５２－３２３１
嬉野温泉病院 （嬉野市）	相談受付　８時３０分～１７時００分（土日・祝日を除く） ☎０９５４－４３－０００３

●佐賀県認知症コールセンター・佐賀県若年性認知症支援センター

佐賀県では認知症の人と家族が抱える、認知症の症状や介護、精神的な悩みを、認知症介護経験のある相談員がお聞きします。若年性認知症支援コーディネーターを配置し、相談に応じています。

相談受付　月～金曜日　１０時～１６時（祝日及び 12/29~1/3 除く）

☎　０９５２－３７－８５４５

4 認知症の人や家族を支援する体制

～知っておくと安心なこと～

認知症の診断後も、家族や地域の人たち、周りの手助けがあれば、住み慣れた自宅での生活を続けることができます。介護保険サービスや福祉サービスなどを上手に組み合わせて、活用していきましょう。認知症が進行し、症状が変化する中で、認知症の症状に応じて、いつ、どこで、どのような医療や介護サービスなどを受けるべきかの概略をまとめた『**認知症ケアパス**』（P12）もあります。個人により認知症の状況は異なりますので、今後、予測される状態の変化の目安として参考にしてみてください。

（１）地域の相談窓口

①伊万里市地域包括支援センター　　🏠立花町 1355 番地 1

高齢者の相談窓口として、市役所長寿社会課内に設置しています。

●高齢者に関する相談や悩み、福祉や医療、その他の相談を伺います

●高齢者の権利を守る取り組みをします（消費者問題、虐待の早期発見、成年後見制度等）

☎0955-23-2122（直通）

●要支援と認定された人、支援や介護が必要となる可能性が高い人、元気で暮らし続けることができるよう予防に取り組みたい人のために介護保険や介護予防事業などでお手伝いします

☎0955-23-2155（直通）

②在宅介護支援センター

地域の高齢者の相談窓口の拠点として、市内５か所に設置しています。

大坪・立花・大川内	…	長生園在宅介護支援センター	☎23-0951
牧島・黒川・波多津・南波多（一部）	…	敬愛園在宅介護支援センター	☎27-2135
伊万里・二里	…	謙仁会在宅介護支援センター	☎24-9388
大川・松浦・南波多（一部）	…	ユートピア在宅介護支援センター	☎20-8008
東山代・山代	…	西光苑在宅介護支援センター	☎28-4878

③認知症初期集中支援チーム

認知症サポート医、作業療法士、看護師、保健師、社会福祉士、介護福祉士などがチームで集中的に、在宅で認知症が疑われる人や、認知症の本人・家族の困りごとに対応します。

対象となる方

●４０歳以上で認知症の症状などでお困りの人

●医療機関の受診や介護サービスを利用したいが出来ない人

●認知症の治療を中断している人、認知症の症状による対応が難しい人

🏠地域包括支援センター

☎0955-23-2122（直通）

④居宅介護支援事業所（ケアマネジャー）

介護保険サービスを受けるために必要な申請からケアプラン作成、介護サービスを受けるために関係事業所との調整や施設入所に関する相談を行います。詳しくは、**「介護保険活用ガイド」**をご覧ください。

⑤ひまわり会
（伊万里地区認知症の人とその家族の会）

認知症の人を抱えた家族が介護の方法や悩みについて話し合い、情報交換・共有をしながらみんなで介護について考えようと発足し、約 120 名の会員が在籍し、介護家族や家族を支援する仲間が活動しています。

🏠市民活動支援センター（立花町 1542-16）

☎090-2215-5556（代表：黒川）

⑥介護の悩みかたろう会

介護をしている家族を中心に、介護経験者も交えて悩みや想いを話せる場です。介護・医療関係の専門職も参加し、介護に関する知識や情報をお互いに共有することができます。

⏰原則隔月第 2 水曜日 14 時~15 時 30 分

🏠市民活動支援センター（立花町 1542-16）

☎090-2215-5556（代表：黒川）

⑦ひまわりカフェ（認知症カフェ）

認知症の当事者も一緒に参加し、外出できる場です。

認知症に関心のある方もご自由にご参加ください。

⏰原則隔月第 4 日曜日 11 時~14 時

🏠市民図書館内　福祉喫茶「あおぞら」　☎090-2215-5556（代表：黒川）

（２）予防のための教室、サロン、講座など

①介護予防教室
（気功・たっしゃか体操）

介護予防・生きがいづくりのために市民センターにて色々な健康教室が開催しています。

🏠地域包括支援センター

☎0955-23-2155

②いきいき百歳体操

地域住民主体で、高知市で作成されたビデオを見ながら、重りを使用し手足の筋力トレーニングを行います。

🏠地域包括支援センター

☎0955-23-2155

③高齢者ふれあい・いきいきサロン

月に 1 回程度、各地域で開催しています。地域で交流をする場を持つことで生きがいのある生活を送ることができるよう活動をしています。

🏠社会福祉協議会

☎0955-22-3931

④いきいき脳の健康教室

読み書き・計算を 1 年間継続して学習する教室を市民センターにて開催しています。

⏰毎週月曜日午前中

🏠地域包括支援センター

☎0955-23-2155

⑤高齢者生きがいづくり講座（陶芸・手芸・スマホ講習会）

陶芸・手芸・スマホ講習会を老人福祉センターにて開催しています。

陶芸　毎週木曜日

スマホ講習会　月１回

手芸　第 1・3 火曜日

シルバー人材センター

☎0955-22-3931

⑥老人福祉センター（松島町）

６０歳以上の方が健康増進や教養の向上、レクリエーションのために利用できる施設です。

月～土曜日　9 時～16 時 30 分

大浴場は月～金曜日　11 時～15 時

利用料　1 日 20 円

老人福祉センター

☎0955-22-7108

⑦老人クラブ

会員の生きがいづくりや健康づくりのために、社会奉仕活動やスポーツ、カラオケ、レクリエーションなど、親睦と交流を深める活動をしています。

老人クラブ連合会

☎0955-22-7108

⑧健康診断

生活習慣病の早期発見・予防、重症化予防のための各種健診があります。かかりつけ医療機関や市民センターで開催される集団健診があります。詳しくは「市民健康カレンダー」をご覧ください。

健康づくり課

☎0955-22-3916

⑨認知症サポーター養成講座

認知症について正しい知識を持ち、認知症の人や家族を応援し、誰もが暮らしやすい地域をつくるサポーターを養成するための講座です。

地域包括支援センター

☎0955-23-2122

⑩シルバー人材センター

これまでに培った技能や経験を活かして元気に就労されています。

シルバー人材センター

☎0955-23-3471

（３）生活支援サービス

①緊急通報システム機器の貸与

自宅で急病などの緊急事態に陥ったときに、簡単に通報ができる「緊急通報機器」を貸与します。通報するとガードマンが駆けつけます。

長寿社会課　高齢福祉・介護認定係

☎0955-23-2162

②見守りサポーター事業

認知症等の人の見守りや話し相手、家族不在時の見守りをすることで、安心した日常生活が送れるように支援する事業です。

地域包括支援センター

☎0955-23-2122

③高齢者紙おむつ支給事業

在宅で、寝たきりや認知症等で常時失禁状態にある高齢者に対し、紙おむつを支給する事業です。

地域包括支援センター

☎0955-23-2122

④愛の一声運動推進事業

６５歳以上で見守りや安否確認が必要な方に対し、ご近所の訪問連絡員が訪問し、安否確認を行います。

地区民生委員/地域包括支援センター

☎0955-23-2122

⑤いまりんバス・コミュニティバス

伊万里市内や各町をコミュニティバスやデマンドタクシーが運行しています。運行地域や運行ルート、時刻についてはお問い合わせください。

🏠まちづくり課

☎0955-23-2114

⑥高齢者見守りネットワーク事業

協力団体、協力機関、登録していただいた協力事業者と連携して、日常生活や日々の業務の中で高齢者の方をさりげなく見守ります。

🏠地域包括支援センター

☎0955-23-2122

⑦運転適性相談窓口

自動車等の運転に不安がある人やその家族の相談窓口です。保健師などの専門の職員が相談に応じています。

🏠運転免許センター/運転免許試験場

☎0952-98-2220

⑧認知症高齢者等 あんしん登録事業

行方不明になるおそれのある認知症高齢者等の情報を事前に登録し、行方不明時は警察署等と協力して、早期発見に繋げるものです。

🏠地域包括支援センター

☎0955-23-2122

⑨認知症高齢者等損害保険

認知症高齢者等が他人にケガを負わせたり、他人の財物を壊したりして、法律上の損害賠償の責任を負う場合に備えて加入する保険です。
保険料の全額を市が負担します。

🏠長寿社会課　高齢福祉・介護認定係

☎0955-23-2162

⑩ あんしんサポート（福祉サービス利用援助事業）

認知症や知的・精神障がい者など判断能力が十分でない人が地域で安心して生活できるよう、福祉サービスの利用に関する手続きや契約、預貯金の出し入れ、生活に必要な利用料などの支払い、大切な書類の管理などを手伝います。

🏠社会福祉協議会

☎0955-22-3931

⑪成年後見制度

認知症などで判断能力が不十分な人の契約行為や財産管理などを支援するための制度です。

🏠成年後見サポートセンター（社会福祉協議会）

☎0955-22-3931

⑫自治会活動

地域の安全と安心を自主的に支えるための福祉活動、防災活動への協力、子どもや青少年の健全育成活動、環境への取り組み、近隣の助け合いと思いやりを育てるための親睦活動を通して、豊かで住みよい地域を作るための住民組織です。

⑬民生委員・児童委員

厚生労働大臣から委嘱を受け、地域住民の立場から生活や福祉全般に関する相談・支援活動を行っています。支援を必要とする住民と行政や地域包括支援センターなどの専門機関をつなぐパイプ役を務めます。

5　家族の気持ちの変化

身近な人が認知症になったとき、家族や周囲の人は戸惑い、不安といろいろな気持ちを抱きます。家族の気持ちは一般的に下記のステップをたどります。「受容」にたどり着くまで、「とまどい・否定」「怒り・混乱・拒絶」「割り切り」を行ったり来たり繰り返します。「受容」に向けて、適切な医療や介護サービスの利用、そして周囲の人の理解と支援が必要となります。

第１ステップ → 第２ステップ → 第３ステップ → 第４ステップ

とまどい・否定	怒り・混乱・拒絶	割り切り	受　容
異常な言動にとまどい、否定しようとする。他の家族にすら打ち明けることができずに一人で悩む。	認知症への理解の不十分さから、どう対応してよいかわからず、混乱し、些細なことで腹を立てたり叱ったりする。 精神的・肉体的に疲労困憊し、拒絶感・絶望感に陥りやすく、最もつらい時期。	怒ったり、イライラしたりしても何もメリットはないと思いはじめ、割り切るようになる時期。	認知症に対する理解が深まり、認知症の人の心理を介護者がわかるようになる。認知症である家族のあるがままを受け入れられるようになる時期。

（１）「認知症」の人のために家族ができる 10 か条

1　見逃すな 「あれ、何かおかしい？」は、大事なサイン

認知症の始まりは、ちょっとしたもの忘れであることが多いもの。単なる老化現象との違いは、周囲の人にはわかりにくいものです。「あれっ、もしかして？」と気づくことができるのは、身近な家族だからこそです。

2　早めに受診を　治る認知症もある

認知症かもと思ったら、まず専門医に受診すること。認知症に似た病気や、早く治療すれば治る認知症もあるのです。また、適切な治療や介護を受けるには、アルツハイマー型認知症や脳血管性認知症などをきちんと診断してもらうことが不可欠です。

3　知は力　認知症の正しい知識を身につけよう

アルツハイマー型認知症と脳血管性認知症では、症状の出方や進行、対応が違います。特徴をよく知って、快適に生活できるよう、その後の家族の生活や介護計画づくりに役立てましょう。

4　介護保険など、サービスを積極的に利用しよう

介護保険など、サービスを利用するのは当然のこと。家族だけで認知症の人を介護することはできません。サービスは「家族の息抜き」だけでなく、本人がプロの介護を受けたり社会に接したりする大事な機会です。

5　サービスの質を見分ける目を持とう

介護保険サービスは、利用者や家族が選択できるのが利点。質の高いサービスを選択する目が必要です。また、トラブルがあったときは、泣き寝入りせず、冷静に訴える姿勢を持ちましょう。

6　経験者は知恵の宝庫　いつでも気軽に相談を

介護経験者が培ってきた知識や経験は、社会資源の一つ。一人で抱え込まずに経験者に相談し、共感し合い、情報を交換することが、大きな支えとなります。

7　今できることを知り、それを大切に

知的機能が低下し、進行していくのが多くの認知症です。しかし、すべてが失われたわけではありません。失われた能力の回復を求めるより、残された能力を大切にしましょう。

8　恥じず、隠さず、ネットワークを広げよう

認知症の人の実態をオープンにすれば、どこかで理解者、協力者が手をあげてくれるはず。公的な相談機関や私的なつながり、地域社会、インターネットなどのさまざまな情報を上手に使い、介護家族の思いを訴えていきましょう。

9　自分も大切に、介護以外の時間を持とう

介護者にも自分の生活や生き甲斐があるはず。「介護で自分の人生を犠牲にされた」と思わないように自分自身の時間を大切にしてください。介護者の気持ちの安定は、認知症の人にも伝わるのです。

10　往年のその人らしい日々を

認知症になっても、その人の人生が否定されるわけではありません。やがて来る人生の幕引きも考えながら、その人らしい生活を続けられるよう、家族で話し合いましょう。

参考「公益社団法人認知症の人と家族の会 HP」

6 認知症の人への接し方

対応の心得 “3つ の「ない」”

1 驚 か せ な い
2 急 が せ な い
3 自 尊 心 を 傷 つ け な い

具体的な対応 “7つ のポイント”

1 まずは見守る
2 余裕をもって対応する
3 声をかける時は一人で
4 後ろから声をかけない
5 相手に目線を合わせてやさしい口調で
6 おだやかに、はっきりした滑舌で
7 相手の言葉に耳を傾けゆっくり対応する

かかわる人の心構え

認知症をよく知り、さりげなく
ほんのちょっとだけの援助と見守りを！

参考「認知症サポーター養成講座標準教材」

7　認知症の経過と周囲の関わり　～伊万里市認知症ケアパス～

認知症の進行	元気高齢者	軽度認知障がい（MCＩ）	認知症疑い	1人で生活できる	誰かの見守りがあれば日常生活が出来る	日常生活の手助けがあれば生活できる	ほぼ全ての行為に介助が必要
本人の様子	＊健康づくりや介護予防に取り組む ＊健康診断を受け生活習慣予防に努める ＊地域とのつながり（社会参加）を大事にする	＊もの忘れなどの認知機能障害は多少あるが、日常生活に支障をきたさない。 （認知症の診断基準を満たさない）	＊同じことを何度も聞くようになる ＊昔のことは覚えているが、最近の事は覚えていない ＊料理の段取りがうまくできない ＊日付や場所が曖昧になってきた ＊薬や金銭管理に困難が出始める		＊季節に合わない服を着る ＊家までの帰り道が分からなくなる ＊着替えやトイレなどの身の回りのことが上手くできない ＊怒りっぽく興奮しやすい ＊「物をとられた」などの発言をする		＊食事、トイレ、お風呂など日常生活において誰かの助けがないと難しい ＊表情が乏しくなる ＊ほぼ寝たきり状態になる ＊言葉は少なくなるが、感覚（目・耳などの機能）は残っている
家族の心構え等	＊外出など人と交流できる場を勧める ＊役割を持ち、いきいきとした生活をできるようにする ＊適切な運動とバランスの良い食事を心がける ＊生活習慣病の予防 ＊治療を継続し、薬の飲み忘れに気を付ける ＊普段と様子が異なると感じたら医師や地域包括支援センターに相談する		＊介護保険サービスを検討 ＊地域包括支援センターや在宅介護支援センターへ相談 ＊接し方の基本やコツを理解する ＊本人が難しいことをサポートする		＊介護サービスを上手く活用できるように担当ケアマネジャーと検討する ＊介護者自身の健康管理をする		＊体調の急な変化や病気の合併症に注意する ＊今後に備えた相談をしておく ＊日常生活でできないことが増えていくことを理解する

様々なサービスの例	
医療	かかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局 もの忘れ外来、脳神経外科、認知症疾患医療センター、認知症サポート医 訪問看護　訪問診療
相談	地域包括支援センター、在宅介護支援センター（長生園、敬愛園、西光苑、誠仁会、ユートピア）認知症地域支援推進員 運転適性相談窓口（佐賀市）　居宅介護支援事業所（ケアマネ） 認知症の人とその家族の会（ひまわり会）、認知症カフェ、認知症初期集中支援チーム
予防	就労、シルバー人材センター、老人クラブ、サークル活動、生涯学習、地域行事への参加 高齢者ふれあいいきいきサロン、いきいき百歳体操、ゲートボール、グランドゴルフ、脳トレ教室 年に1回の健康診断、定期受診、内服治療の継続
見守り	認知症サポーター、伊万里市高齢者見守りネットワーク事業（民間事業者）　見守りサポーター派遣事業　認知症高齢者あんしん登録事業　伊万里市認知症高齢者等賠償保険加入事業 愛の一声運動推進事業、地域での見守りや助け合い（区長、民生委員、福祉活動員）　配食サービス
生活支援	いまりんバス、コミュニティバス、デマンドタクシー　福祉タクシー シルバー人材センター、友愛ヘルプなど
介護サービス	訪問型サービス、通所型サービス、訪問介護、通所介護、ショートステイ、定期巡回・随時対応型訪問介護看護　など
権利を守る	消費生活センター、あんしんサポート（日常生活自立支援事業）、成年後見制度、法律相談など
住まい	高齢者賃貸住宅、見守り付き住宅（ケアハウス） サービス付き住宅（サービス付き高齢者向け住宅、有料老人ホームなど） 介護を受けられる住宅（グループホーム、介護老人福祉施設）

地域の中には適切な支援やサービスがあり、認知症の人とその家族を見守ります。

« メ モ »

伊万里市認知症あんしんガイドブック

令和３年８月　初版発行

令和４年７月　一部改訂発行

令和５年１０月　一部改訂発行

令和６年４月　一部改訂発行

令和７年１月　一部改訂発行

編集・発行：　伊万里市地域包括支援センター

協力：　伊万里市認知症初期集中支援チーム　作業療法士

～認知症になっても笑って過ごせるまちを目指して～